



昭和電線グループ

中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026

昭和電線ホールディングス（株） 東証一部（5805）

目次

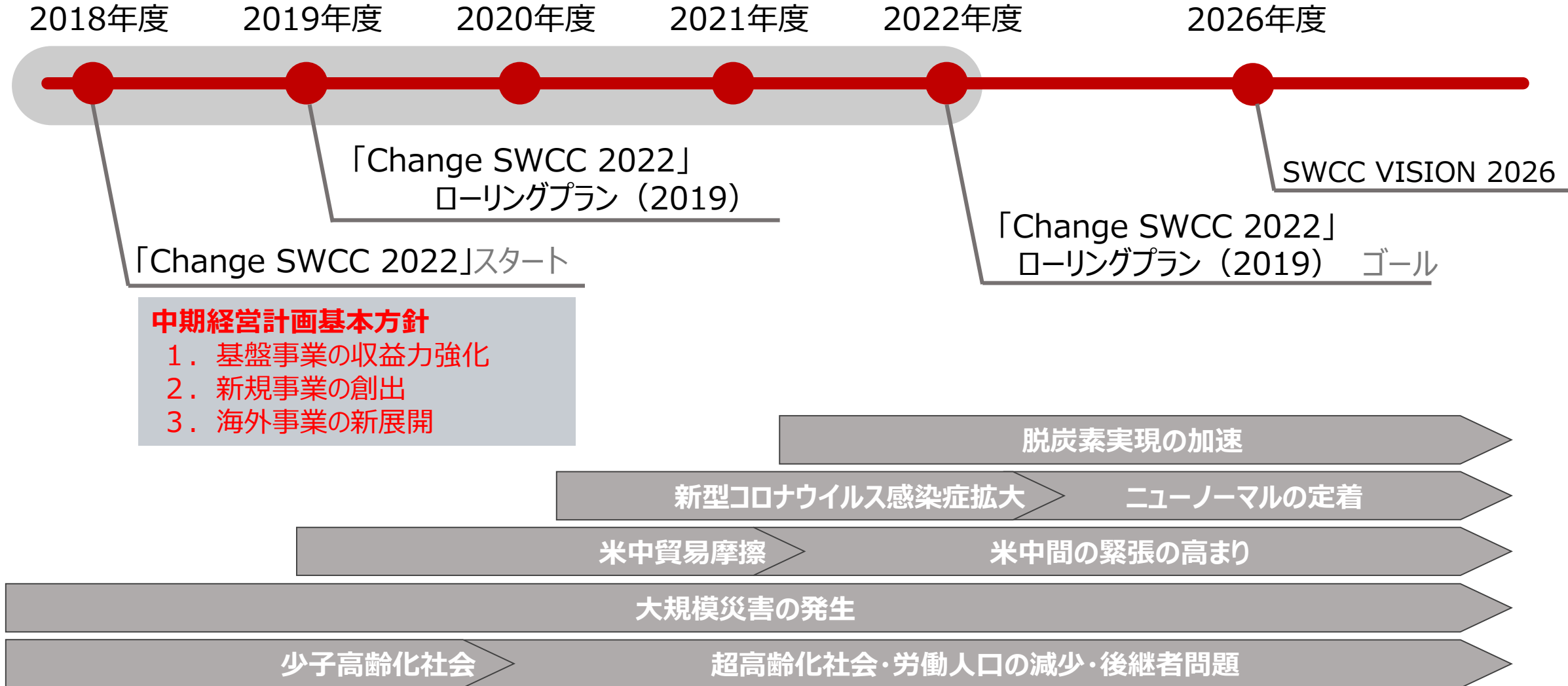
1. 現中期経営計画「Change SWCC 2022」 ローリングプラン（2019）振り返り … P3
2. ビジョン「SWCC VISION 2030」 中期経営計画「Change & Growth SWCC 2026」 … P8
3. セグメント事業戦略 … P15
4. Growth SWCC 2026 … P23
5. サステナビリティ戦略 … P27
6. 財務戦略 … P30

現中期経営計画

「Change SWCC 2022」ローリングプラン(2019)

振り返り

現中期経営計画 「Change SWCC 2022」の変遷



現中期経営計画 「Change SWCC 2022」 ーリングプラン(2019)①

【営業利益率】

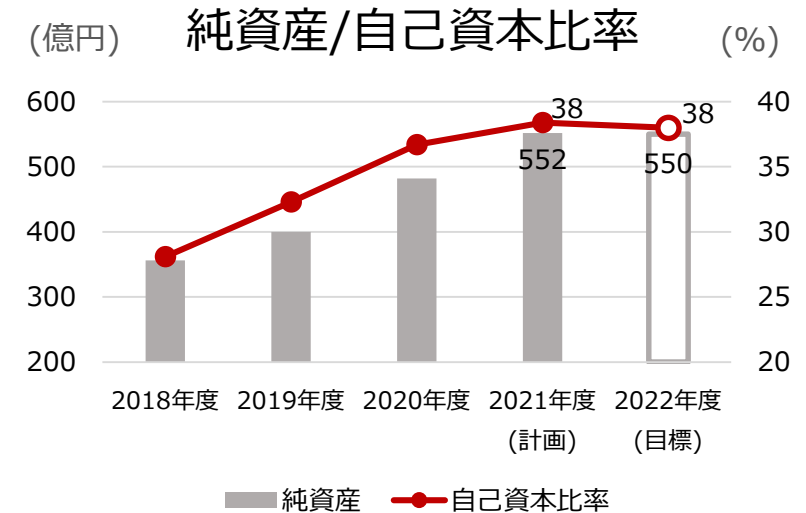
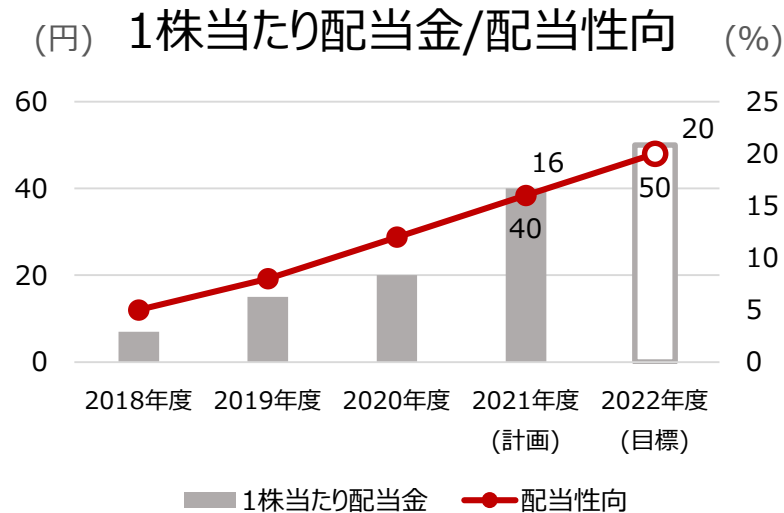
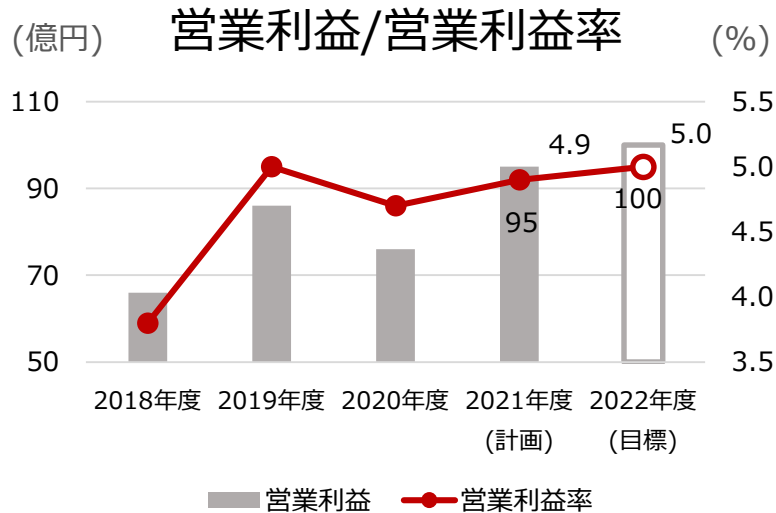
2022年度目標：5.0%以上
2021年度計画：4.9%

【1株当たり配当金】

2022年度目標：50円以上
2021年度計画：40円

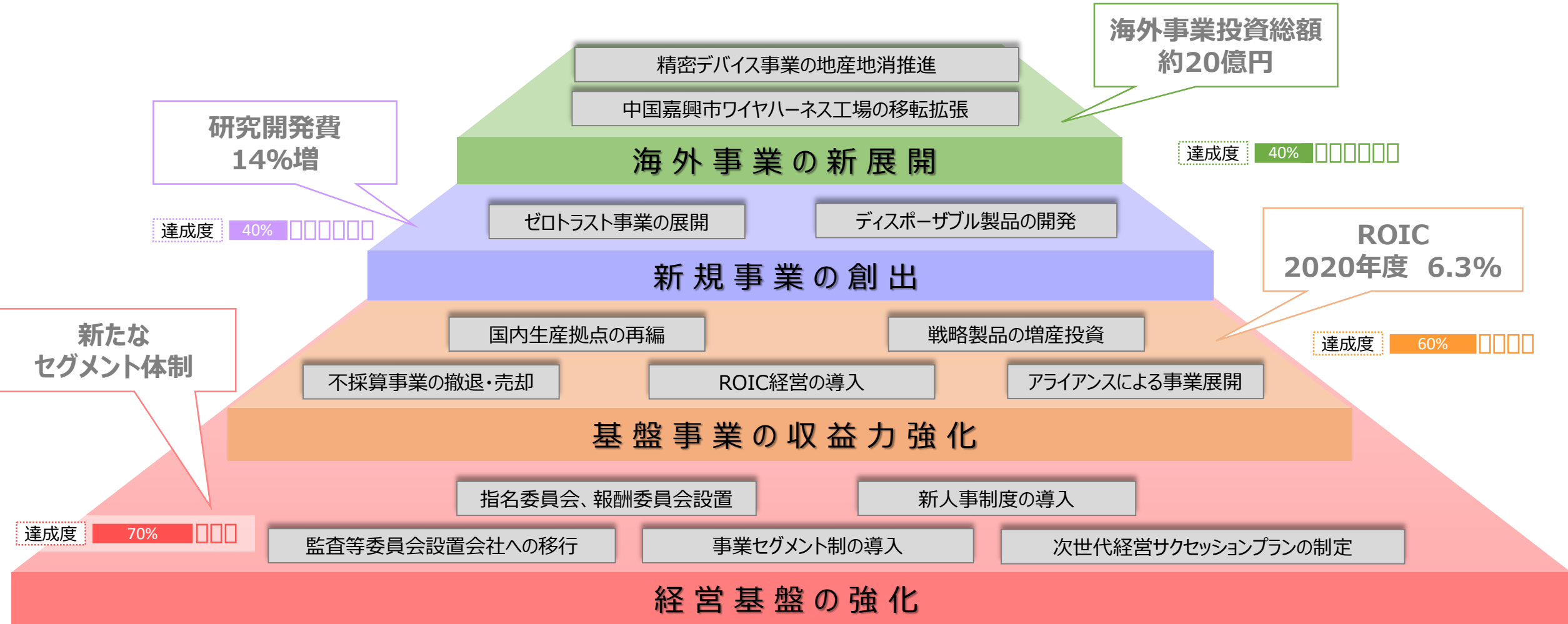
【自己資本比率】

2022年度目標：38%以上
2021年度計画：38%



現中期経営計画 「Change SWCC 2022」ロードマップ(2019)②

経営基盤強化への取り組みと中期経営計画基本方針の成果



国内生産拠点再編および強靱化に関する投資

2019年度

2022年度

2026年度

中期経営計画「Change SWCC 2022」
ローリングプラン（2019）スタート

中期経営計画「Change SWCC 2022」
ローリングプラン（2019）ゴール

**SWCC
VISION 2026**

グループを横断した生産拠点再配置による構造改革プロジェクト

エネルギー・インフラ事業

電力部品	再配置効率化・増産	20億円
免震他	再配置効率化	2億円

通信・産業用デバイス事業

通信ケーブル	グループ拠点移転集約	14億円
精密デバイス	拠点移転・海外移管	5億円

電装・コンポーネンツ事業

高機能製品 再配置効率化 14億円

生産拠点 強靱化

自然災害対策 ・ 老朽化インフラ更新

ビジョン

SWCC VISION 2030

中期経営計画

Change & Growth SWCC 2026

ビジョン SWCC VISION 2030 中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026

中期経営計画基本方針

1. 基盤事業の収益力強化
2. 新規事業の創出
3. 海外事業の新展開

戦略① **Change**
構造改革のさらなる積み上げ

戦略② **Growth**
成長フェーズへの移行

Creating for the Future

SWCC VISION 2030
未来につなぐ価値を創造する

SWCC VISION 2030

2030年度業績目標

売上高	2,200億円
営業利益	200億円
営業利益率	9%以上
ROIC	10%以上

中期経営計画 「Change & Growth SWCC 2026」

2026年度業績目標

売上高	2,150億円
営業利益	150億円
営業利益率	7%以上
ROIC	10%以上

※2022年5月12日にROIC目標を見直しております

中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026



戦略①

Change

～ 構造改革のさらなる積み上げ ～

1. ROIC経営の浸透による収益力アップ
2. DXによるバリューチェーン改革とビジネスモデル変換
3. コーポレートガバナンス体制の強化

戦略②

Growth

～ 成長フェーズへの移行 ～

1. 社会課題解決型ビジネスの推進
2. 成長事業へのポートフォリオシフト
3. 拡大投資による成長フェーズへの移行

社会課題解決型ビジネス

持続可能な社会の実現にむけて、社会課題の解決に貢献します

環境・エネルギー

防災・インフラ

生活・モビリティ

教育・人材育成

医療・健康

社会課題

- カーボンニュートラルの実現
- 消費電力の増加

- 社会インフラの老朽化
- 大規模自然災害の発生

- 内燃機関車による環境汚染
- Afterコロナの到来

- 労働人口の減少
- リモート教育環境の不足

- 医療従事者の不足
- 医療費の増大

社会課題解決



再生可能エネルギーの促進



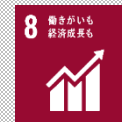
都市のレジリエンス強化



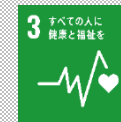
高効率EVモーター実現



安全快適な自動運転



労働人口不足の解決



医療環境の充実



中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026

売上高
1,617億円
営業利益
76億円
営業利益率
4.7%

2020年度実績

売上高
2,000億円
営業利益
100億円
営業利益率
5%以上

2022年度計画

売上高
2,150億円
営業利益
150億円
営業利益率
7%以上

2026年度目標

売上高
2,200億円
営業利益
200億円
営業利益率
9%以上

2030年度ビジョン

売上高	1,617億円	2,000億円	2,150億円
営業利益/営業利益率	76億円 / 4.7%	100億円 / 5%以上	150億円 / 7%以上
経常利益	78億円	98億円	150億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	50億円	66億円	100億円
1株当たり配当金/配当性向	20円 / 12%	50円以上 / 約20%	120円以上 / 約35%
有利子負債	377億円	430億円以下	400億円以下
DEレシオ※ DEレシオは自己資本で算出しております	79%	70%以下	50%以下
純資産	482億円	600億円以上	850億円以上
自己資本比率	36.7%	40%以上	50%以上
ROE/ROIC	11.4% / 6.3%	10%以上 / 7.0%以上	10%以上 / 10%以上※
EBITDA	108億円	130億円以上	200億円以上

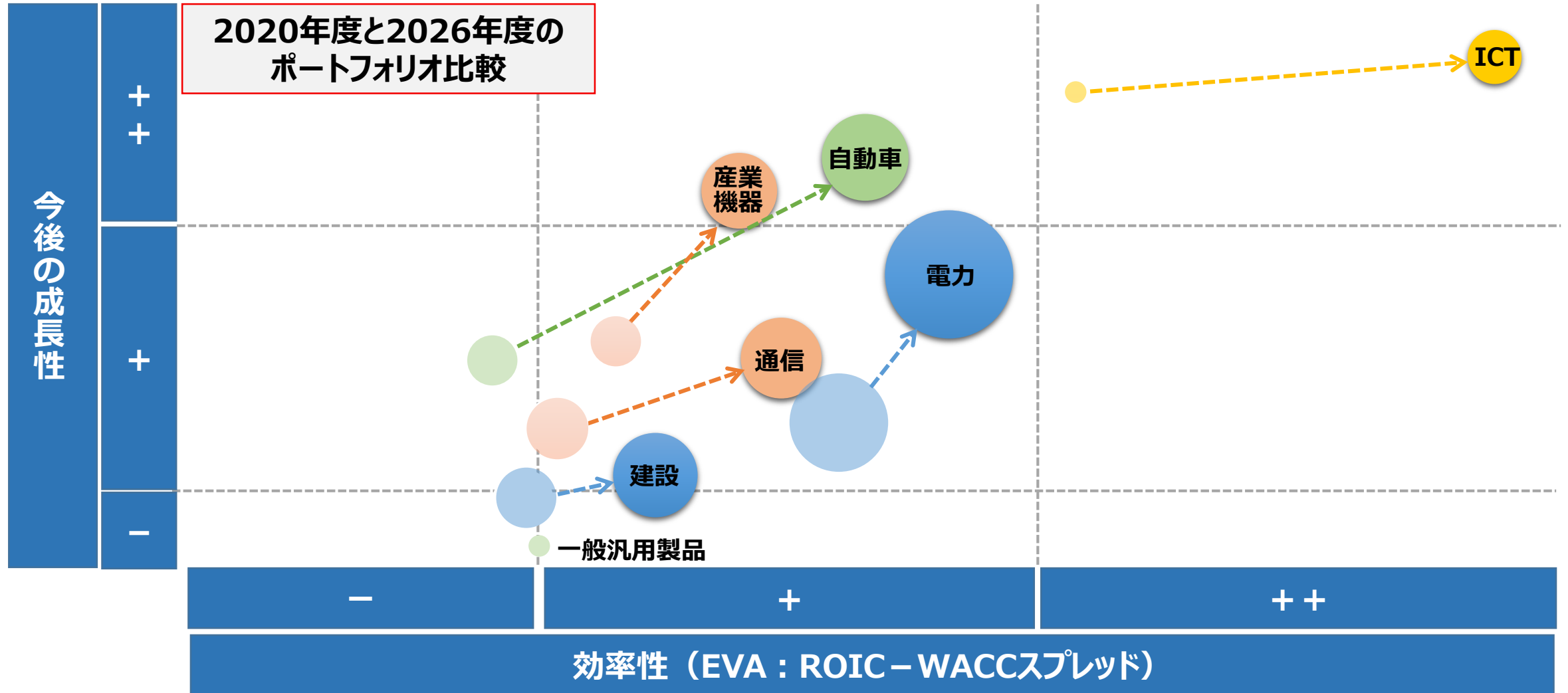
※2022年5月12日にROIC目標を見直しております

事業ポートフォリオ変化

	2020年度	2026年度	2030年度
売上高	1,617億円	2,150億円	2,200億円
営業利益	76億円	150億円	200億円
営業利益率	4.7%	7%以上	9%以上

	2020年度 売上高比率	2026年度 売上高比率	CAGR目標 2022-2026	2026年度 利益目標	2030年度 売上高比率
自動車	16%	20%	+3~5%	↑	21%
電力	14%	14%	+5~10%	↗	15%
建設	40%	33%	0~+1%前後	↘	28%
通信	8%	8%	+3~5%	↗	9%
産業機器	20%	21%	+5~10%	↑	22%
ICT	2%	4%	+15%強	↑	5%

成長事業へのポートフォリオシフト



セグメント事業戦略

エネルギー・インフラ事業戦略①

社会課題

環境・エネルギー

- カーボンニュートラルの実現
- 消費電力の増加

防災・インフラ

- 社会インフラの老朽化
- 大規模自然災害の発生

教育・人材育成

- 労働人口の減少
- リモート教育環境の不足

成長戦略

- ① 電力施工ソリューションによる再エネ連系需要の捕捉
- ② 建設分野におけるビジネスモデル変革による収益力向上
- ③ サステナブルな人材育成による施工能力の強化

社会課題解決

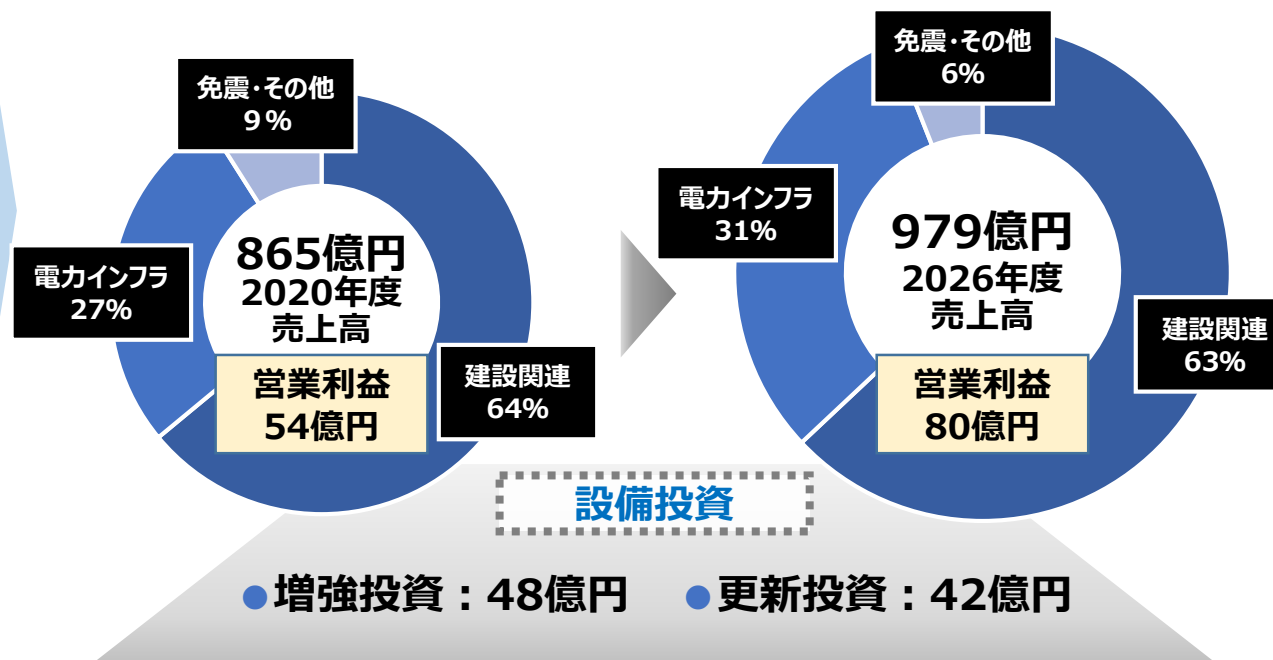
再生可能エネルギーの促進



都市のレジリエンス強化



労働人口不足の解決



エネルギー・インフラ事業戦略②

DXによるバリューチェーン改革を進めるとともに、再エネ連系需要をとりこみ社会課題解決型ビジネスを推進

Change 構造改革のさらなる積み上げ

DXによるバリューチェーン改革とビジネスモデル変換

ECサイト蛙屋で建設用電線のビジネスモデルを変える

DX ソリューション

最適な品揃え

受注プロセス

AI・IoTの導入

製造プロセス

出荷・輸送効率化

物流プロセス

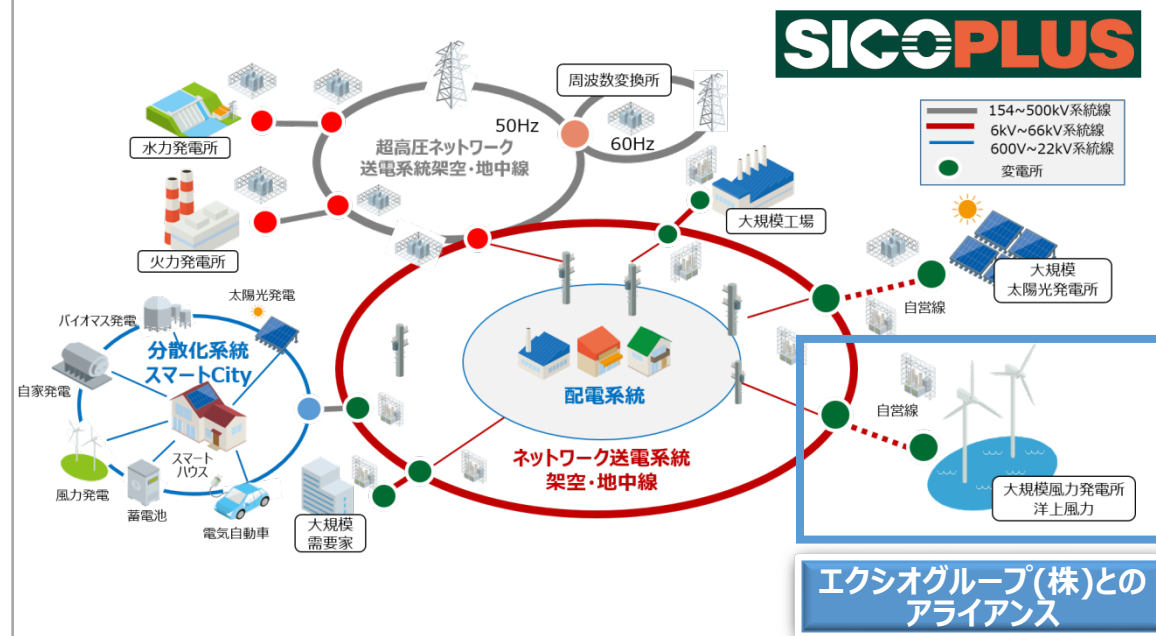


バリューチェーンを改革し“高収益ビジネスモデル”にかえる

Growth 成長フェーズへの移行

社会課題解決型ビジネスの推進

再エネ連系需要を取り込みSICOPLUS™を展開



通信・産業用デバイス事業戦略①

社会課題

生活・モビリティ

- 内燃機関車による環境汚染
- Afterコロナの到来

防災・インフラ

- 社会インフラの老朽化
- 大規模自然災害の発生

教育・人材育成

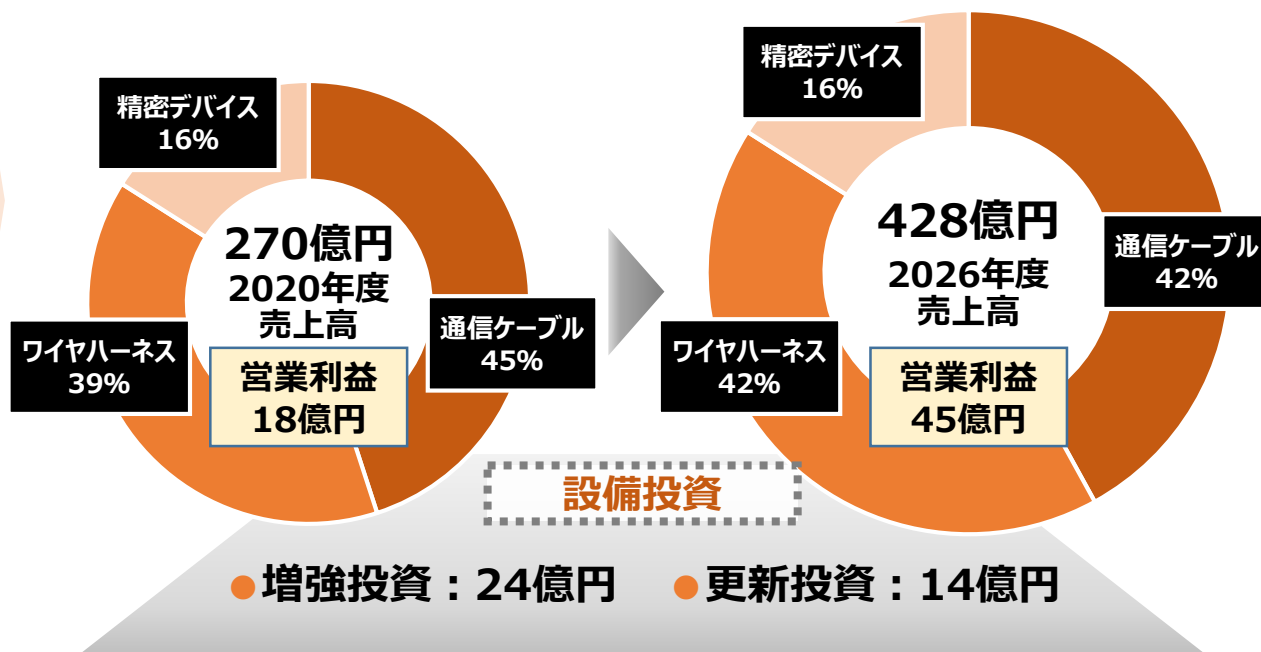
- 労働人口の減少
- リモート教育環境の不足

医療・健康

- 医療従事者の不足
- 医療費の増大

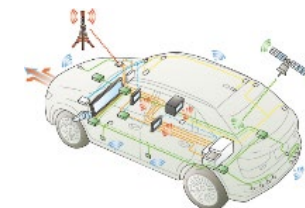
成長戦略

- ① ニューノーマル社会で拡大する高速データ通信需要への拡販
- ② ベストパートナーポジションを活かした技術力の新展開
- ③ サプライチェーンのさらなる最適化によるグローバル事業の拡大

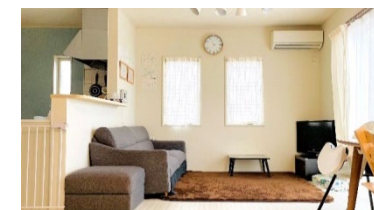


社会課題解決

安全快適な自動運転



新たな居住空間の実現



教育・医療環境の充実



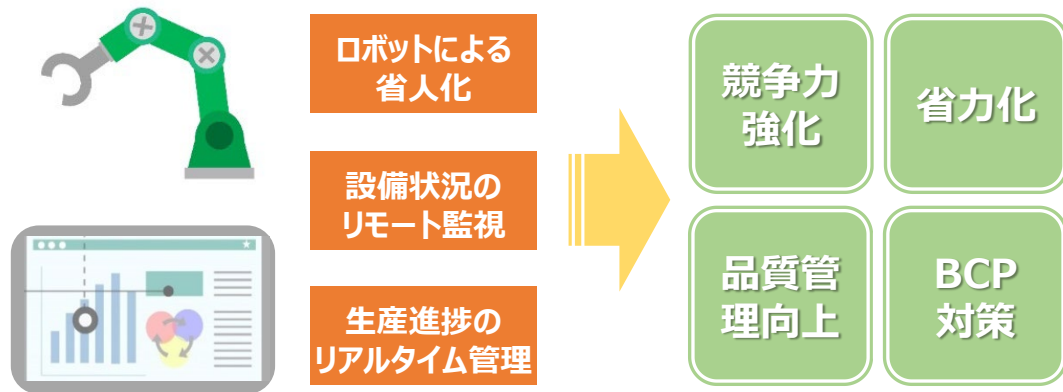
通信・産業用デバイス事業戦略②

通信トラフィックの増大による高速Ethernet通信用途の需要取り込みと主要製品の生産力増強

Change 構造改革のさらなる積み上げ

生産ラインの自動化・DX化

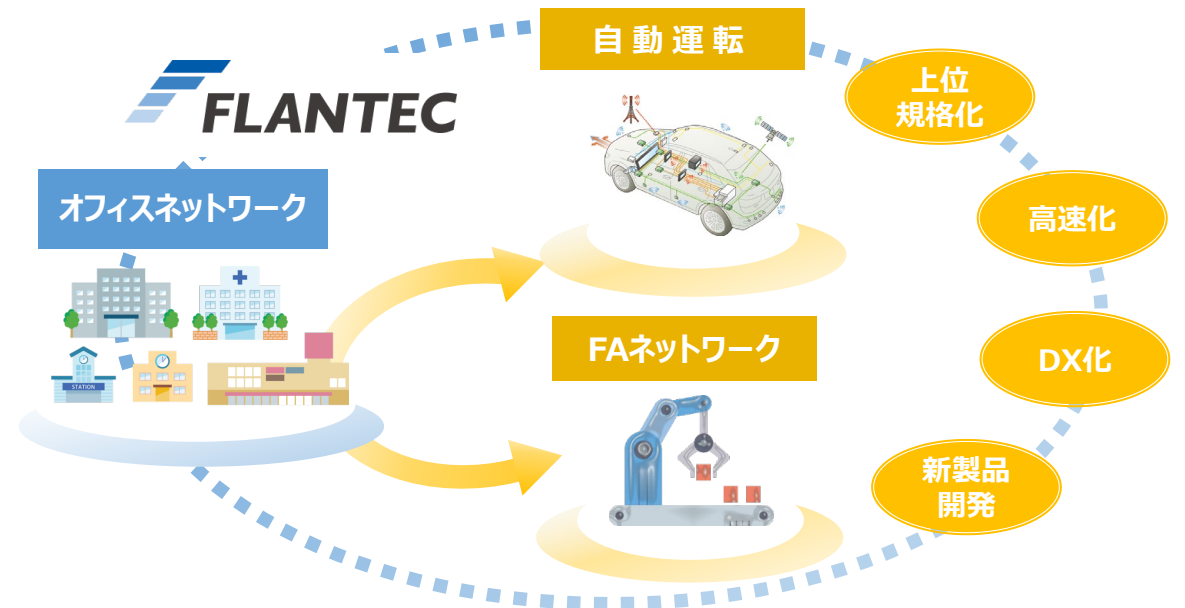
精密デバイスの国内拠点“生産革新ライン”増強



Growth 成長フェーズへの移行

社会課題解決型ビジネスの推進

高速LANケーブル FLANTEC™ の新市場展開



電装・コンポーネンツ事業戦略①

社会課題

成長戦略

社会課題解決

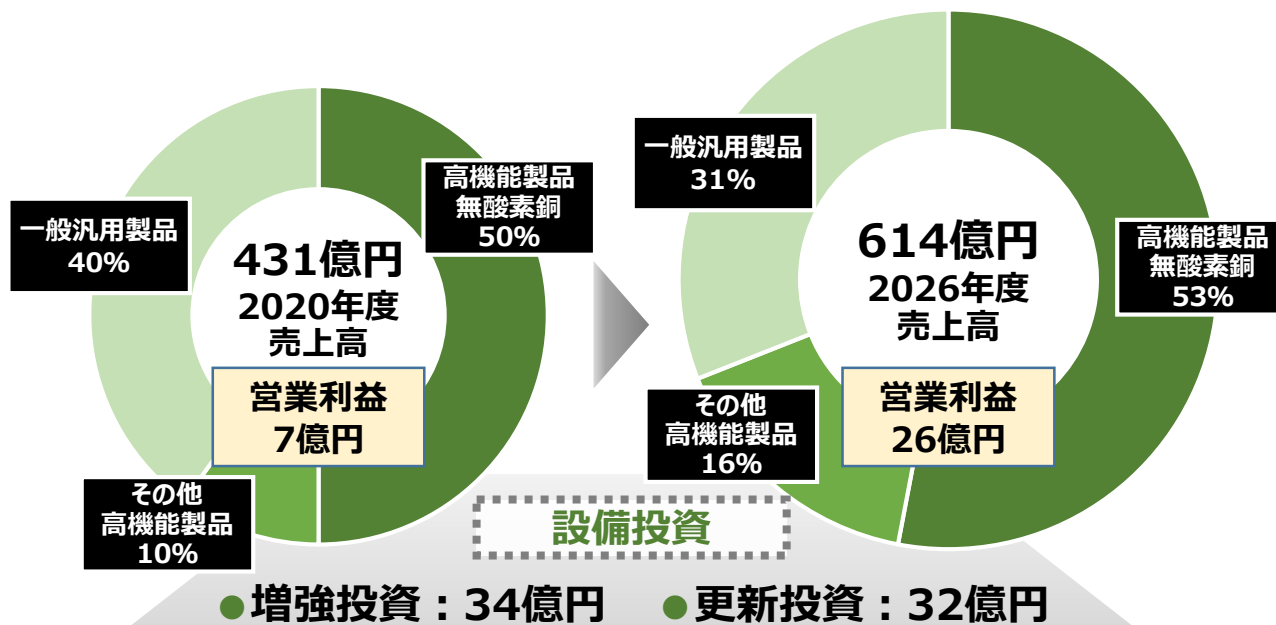
環境・エネルギー

- カーボンニュートラルの実現
- 消費電力の増加

生活・モビリティ

- 内燃機関車による環境汚染
- Afterコロナの到来

- ① 本格化するxEVシフトによる電動化需要への増産捕捉
- ② 高機能製品の需要拡大に向けた新たな製造技術の導入
- ③ 高機能製品の新たな分野・ニーズへの新展開



高効率EVモーター実現



9
産業と技術革新の基盤をつくろう

快適な運転環境の実現



3
すべての人に健康と福祉を

電子機器の省電力化



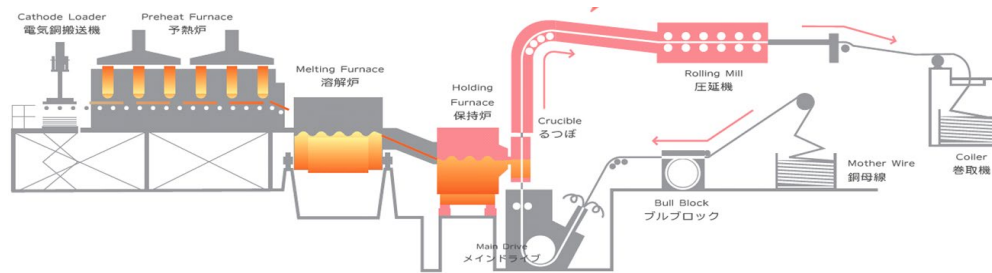
7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに

高機能製品の増産による車載向けシフトの加速と新たな市場への展開

Change

構造改革のさらなる積み上げ
増産に向けた生産ライン改革

MiDIP®のさらなる生産能力増強計画



設備強靱化投資
生産効率向上



&

Growth

成長フェーズへの移行
社会課題解決型ビジネスの推進

平角巻線生産革新ライン“Kプロジェクト”推進

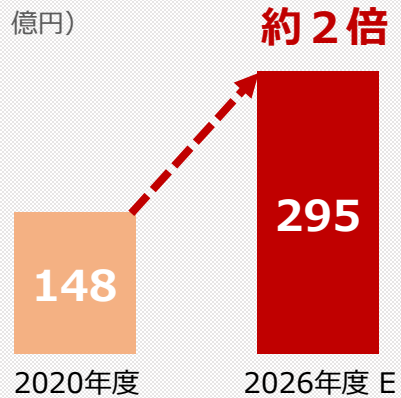


海外事業戦略

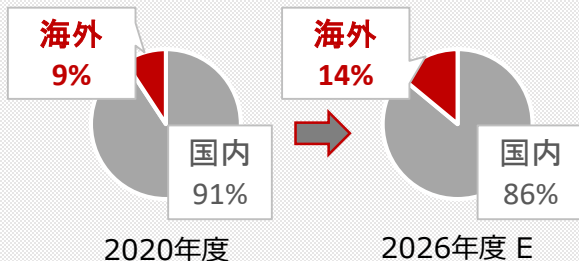
Growth 海外地産地消による売上高拡大と光ファイバ輸出によるグローバル展開

海外事業の売上高

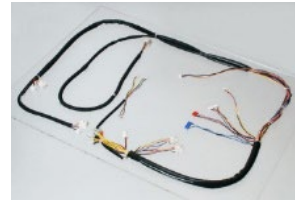
(単位：億円)



国内・海外 売上高比率



ワイヤハーネス



- ・パートナーシップによる海外生産拠点の増強と地産地消シフトの加速

精密デバイス



- ・パートナーとの密着したグローバル展開
- ・加圧ローラシェアNo.1と品種拡大

光ファイバ



- ・データセンター向け超細径高密度光ケーブル市場向け e-Ribbon® 光ファイバの輸出拡販

銅材

- ・無酸素銅製造設備の改良
- ・ローカル市場への拡販



電力機器

- ・電力機器部品メーカー 中国No.1へ



【アライアンス戦略】

- ・富通集団との銅事業拡大に向けた連携
- ・特変電工との電力機器部品の新市場展開

Growth SWCC 2026

Growth 成長フェーズへの移行

Growth SWCC 2026

① 生産能力増強 120億円

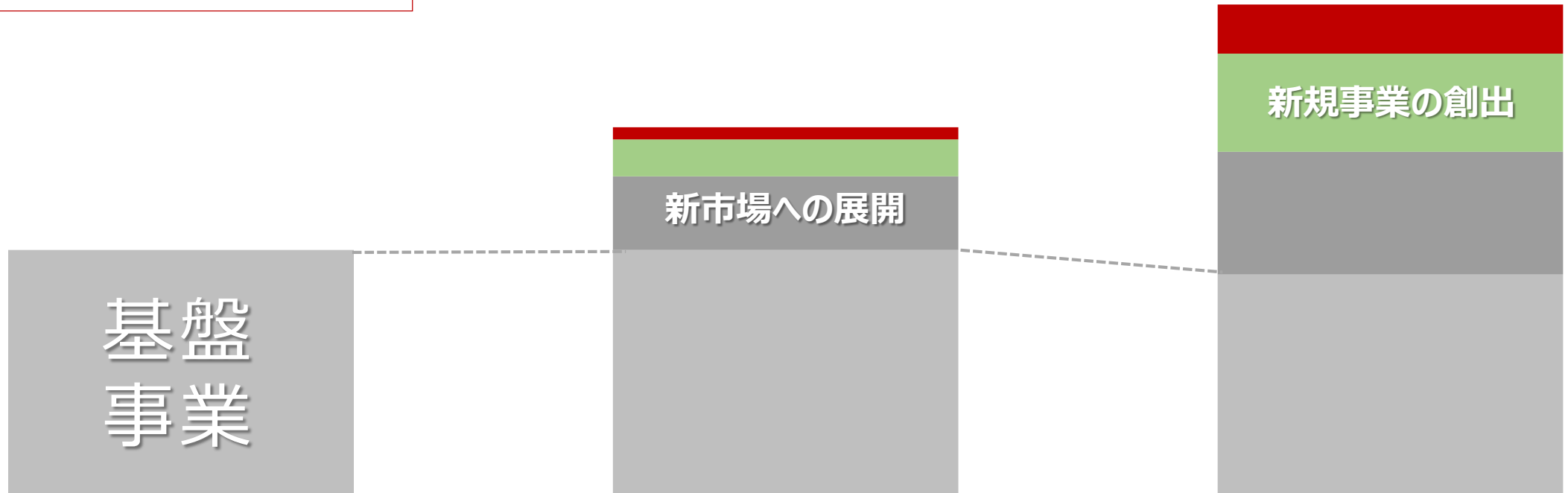
SWCC Smart Stream

新規事業の創出 ゼロトラスト事業

新市場への展開 車載、再エネ、DX等

② 成長投資 200億円

③ 研究開発 100億円



2022年度

中期経営計画

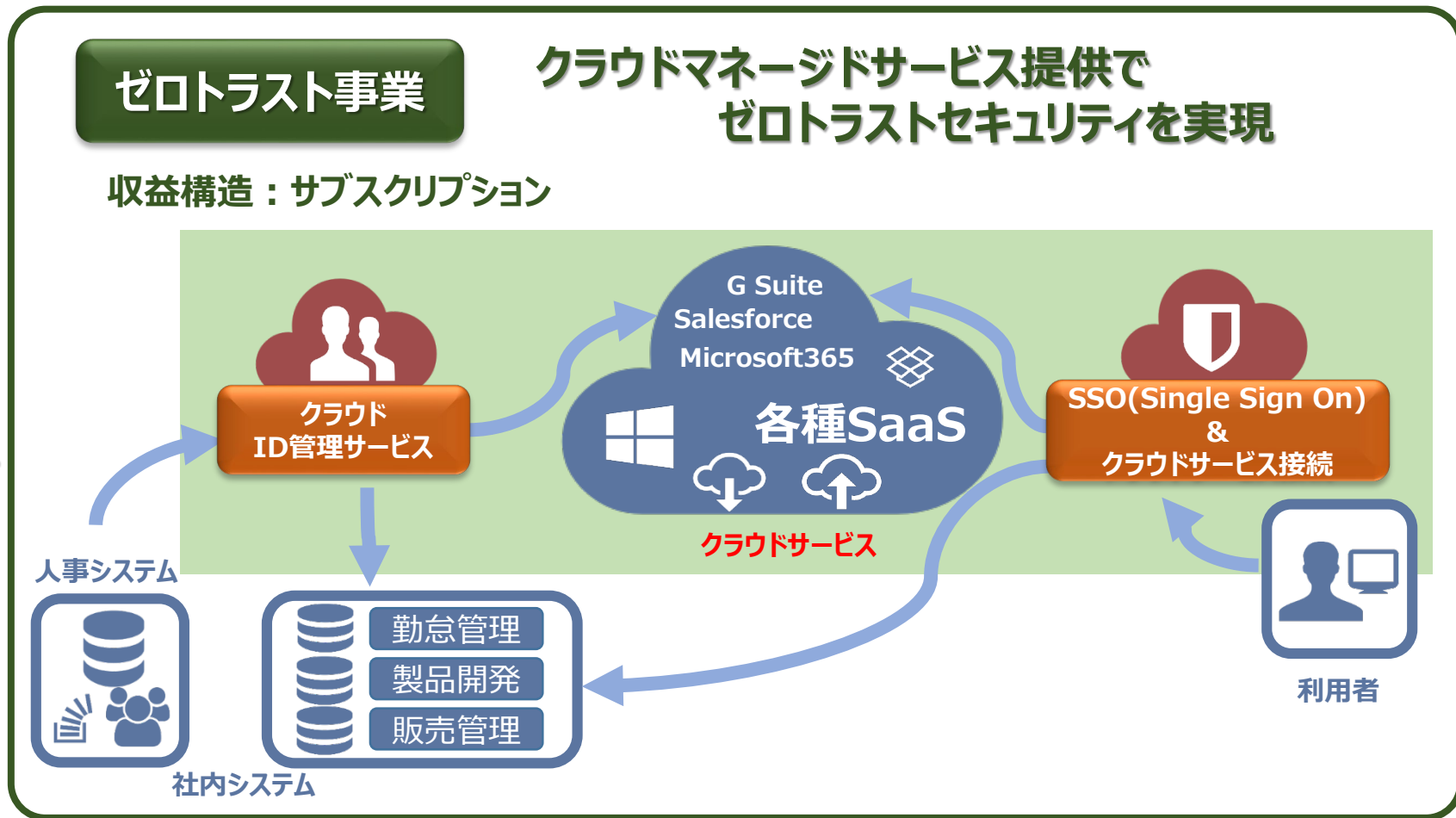
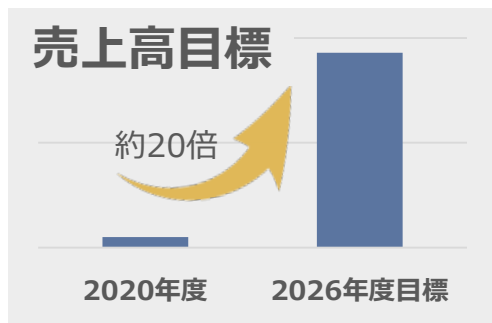
Change & Growth SWCC 2026

2026年度

2030年度

SWCC VISION 2030

クラウド型ビジネスモデルによる新規事業の創出



DXソリューションによるSWCC Smart Streamの事業化

SWCC Smart Stream

現場教育システム

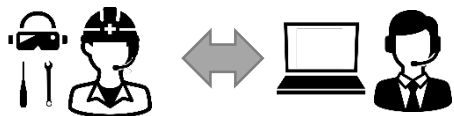
仮想現場での体感、体験



リモート教育
安全・衛生教育活用

現場管理システム

映像・音声・作業データ 遠隔支援



データ・デジタル処理

センシング技術の活用

フィールド不具合早期究明

製品デジタル管理

顧客・製品のデータ紐つけ

製品品質管理、履歴
適正な生産、在庫管理
工程見える化、納期管理

パッケージ販売

オープンイノベーション

- ・スタートアップ企業（提携・M&A）
- ・オープン化・コンソーシアム

DX
技術

DXソリューション



AI



IoT・Data



AR・VR



5G・Wi-Fi6



Camera



Sensing



Simulation

Digital Innovation

SWCCの保有財産



膨大な材料データ



多様な設計技術



製造技術・ノウハウ



技能保有人材



製品群

強い製品・製造

- ・SICONEX® →エポキシ注型
- ・無酸素銅→DIP
- ・銅銀合金→鋳造・冷間加工

既存
技術

DX 投資

- ・デジタル技術
- ・シミュレーション技術
- ・AI技術
- ・デジタル人材育成

開発 投資

- ・インフラ構築
- ・センサ開発
- ・自動制御・ロボット

サステナビリティ戦略

サステナビリティ戦略

E 環境への取り組み

Green Plan 2050の推進
TCFDの枠組みに基づいた開示

目的	目標
気候変動 リスク対応	TCFDに基づく戦略等 の推進
地球温暖化 防止	2013年度比2030 年度までにCO ₂ 排出 量35%削減
水資源の 有効活用	2018年度比2030 年度までに水使用量 50%削減

S 社会への取り組み

多様な人材の登用
サステナブルな育成

目的	目標
ダイバーシティ マネージメント の促進	女性活躍推進 ・管理職割合 8% ・課長職以上割合 10% シニア人材活用
人材開発	次世代経営者サセッ ション®の充実 DX教材を活用した施 工人材育成
健康経営の 推進	健康経営戦略マップを 活用した従業員エン ゲージメント向上

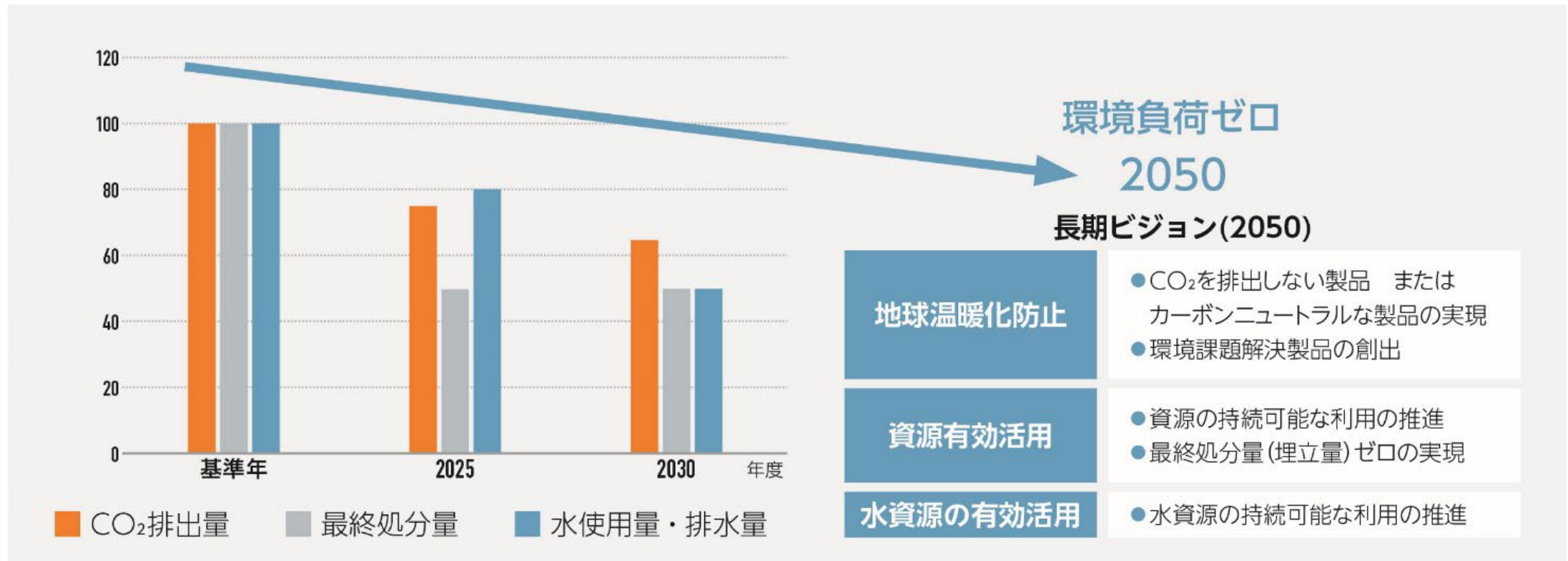
G コーポレート・ガバナンス

グループカのさらなる強化
品質管理・監査の強化・徹底

目的	目標
グループ経営体 制の強化・再 構築	グループ再編の仕上げ と経営体制の合理 化・効率化
制度・ITシステ ムのグループ内 統一化	人事等の各種制度と ITシステムのグループ 内での統一化
品質管理体制 の強化	品質管理の強化と監 査の徹底による信頼 回復

Green Plan 2050(環境中長期計画)

2050年環境負荷ゼロをキーワードに、長期ビジョンを掲げています。
 達成に向けて、社内インフラの変革を促し、環境配慮と経済性の両立に向けた取り組みを進めています。



財務戰略

中期的なキャッシュフローロケーション

2017年度～2021年度 累計			
営業利益	362	税金	69
		その他	66
		設備投資	224
		運転資金増減	59
減価償却費	173	借入返済	103
		配当	14
		FCF	117
EBITDA	535		535



2022年度～2026年度 累計			
営業利益	610	税金	184
		その他	9
		設備投資	310
		成長投資	200
		運転資金増減	30
減価償却費	231	借入返済	1
		配当	107
		FCF	108
EBITDA	841		841

① 生産能力増強	120億円
② 生産拠点再編・強靱化、設備更新	122億円
③ 合理化・ICT強化	35億円
④ 研究開発	20億円
⑤ 環境負荷低減他	13億円
合計	310億円

新たな成長事業領域への投資
200億円（M&Aなど）

2026年度 株主還元
一株当たり配当 120円以上
配当性向 約35%

中期経営計画 Change & Growth SWCC 2026

2020年度実績



2022年度計画



2026年度目標



2030年度ビジョン





本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。
なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

お問合せ先

昭和電線ホールディングス（株）

経営戦略企画部 戦略課

TEL：044-223-0520

E-mail：kouho@hd.swcc.co.jp

昭和電線ホールディングス（株） 東証一部（5805）